

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月13日

【四半期会計期間】 第68期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 岡本硝子株式会社

【英訳名】 OKAMOTO GLASS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岡本 毅

【本店の所在の場所】 千葉県柏市十余二380番地

【電話番号】 04(7137)3111

【事務連絡者氏名】 常務取締役コーポレートサービス本部長 阿部 裕

【最寄りの連絡場所】 千葉県柏市十余二380番地

【電話番号】 04(7137)3111

【事務連絡者氏名】 常務取締役コーポレートサービス本部長 阿部 裕

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第3四半期 連結累計期間	第68期 第3四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	4,124,393	4,228,102	5,201,667
経常損失() (千円)	71,607	350,992	303,024
四半期(当期)純損失() (千円)	85,285	278,783	311,191
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	66,642	238,760	261,132
純資産額 (千円)	1,279,913	848,429	1,084,840
総資産額 (千円)	7,563,242	6,469,093	6,982,659
1株当たり四半期(当期) 純損失金額() (円)	5.35	17.48	19.51
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	16.0	11.9	14.5

回次	第67期 第3四半期 連結会計期間	第68期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	3.15	5.90

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、第67期第3四半期連結累計期間、第68期第3四半期連結累計期間及び第67期は1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当社グループは、前連結会計年度及び当第3四半期連結累計期間に継続して営業損失を計上しており、当第3四半期連結累計期間において重要な営業損失(443百万円)を計上しております。また、当社グループの借入金の一部について、連結会計年度の経常利益額、連結会計年度末の純資産額、事業年度末の当社の純資産額に係る財務制限条項が定められており、当連結会計年度末において財務制限条項に抵触することが見込まれます。当該状況により、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。

しかしながら、「第2 事業の状況 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 (4) 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該事象を解消し、又は改善するための対応策」に記載のとおり、当該事象又は状況を解消、改善するための対応策を講じることにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、消費及び設備投資が堅調なことにより、景気が緩やかに回復を続け、ヨーロッパ地域では、各国の財政緊縮の影響があり、失業率も依然として高水準であるものの、景気は持ち直しの兆しがみられ、中国では、消費が堅調に増加し、景気の拡大テンポも安定化しつつあります。日本経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要などにより個人消費が増加し、企業収益も改善するなど、回復基調が継続しております。

データプロジェクターの販売が、アメリカのビジネス向けを中心に好調なため、当社グループのプロジェクター用反射鏡及びフライアイレンズへの需要は回復しました。

フライアイレンズについては、前期に増床したクリーンルームでの蒸着数が増加するとともに、面取り機導入により研磨工程の加工数量も増加したものの、これを上回る急激な受注増加により、外注への依存量が増えてしまいました。また、成型の炉についても専用炉では間に合わず、一部製品について他の炉での生産で対応いたしました。成型条件の確立により、歩留りは回復いたしました。このため、フライアイレンズは、当第3四半期連結累計期間において、売上損失となりました。フライアイレンズの採算性の回復が、当社グループの経常利益の黒字化への喫緊の課題であり、外注費削減と歩留り向上などによる原価低減策と適正価格への交渉を進めております。

フライアイレンズの製造設備について交付された国内立地推進事業費補助金(国庫補助金)111百万円を特別利益に計上し、当該設備について固定資産圧縮損92百万円を特別損失に計上いたしました。

ガラス偏光子は、これまで、プロジェクター向けに供給しておりましたが、今後は、センサー向けなどに用途転換していきます。このため、稼働率の大幅な低下が見込まれる製造設備につき、減損損失25百万円を特別損失に計上いたしました。

フリット(ガラス粉末)は、新規開拓を始めとして試作から量産へ向けて全社を挙げて取り組んでおります。

資産効率化のため、ガラス溶融炉の建設などに備えて所有していたプラチナ地金のうち、当面使用しない分を売却したことなどにより、固定資産売却益は84百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高4,228百万円(前第3四半期連結累計期間比2.5%増)、経常損失350百万円(前第3四半期連結累計期間の経常損失は71百万円)、四半期純損失278百万円(前第3四半期連結累計期間の四半期純損失は85百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

照明事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は589百万円と前年同期と比べ46百万円(7.4%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は53百万円と前年と比べ5百万円(8.9%)の減益となりました。LED照明向け製品の販売が引き続き好調でした。自動車用ヘッドレンズ・フォグレンズは、ガラス製品への需要の漸減傾向が続いており、販売数量が前年同期比で25.8%減少し、売上高は17.2%減少いたしました。

光学事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は2,881百万円と前年同期と比べ78百万円(2.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は112百万円と前年と比べ204百万円(64.6%)の減益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比で4.5%減少し、売上高は12.5%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比で51.4%増加し、売上高は54.2%増加いたしました。受注急増による外注加工費の増加と成型工程の歩留り低下などにより採算性は大きく悪化いたしました。成型条件確立による歩留りの回復などの対応策の効果は次第に現れております。デジタルシネマ用映写機の反射鏡の販売は、先進国でデジタルシネマ上映システムの導入がピークを過ぎているため、減少いたしました。

機能性ガラス・薄膜事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は94百万円と前年同期と比べ32百万円(51.9%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は76百万円と前年と比べ64百万円(前第3四半期連結累計期間のセグメント損失は140百万円)の増益となりました。プロジェクター用ガラス偏光子の販売は増加いたしました。

その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は662百万円と前年同期と比べ39百万円(6.3%)の増収となりましたが、セグメント損失(営業損失)は260百万円と前年と比べ194百万円(前第3四半期連結累計期間のセグメント損失は65百万円)の減益となりました。紫外線波長域の反射鏡の販売は増加いたしました。市場開拓中であるフリットなどは製造固定費の増加を売上増で吸収できず、加えて、研究開発費の増加により営業損失は増加いたしました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて513百万円減少し、6,469百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が31百万円減少、受取手形及び売掛金が211百万円増加、商品及び製品が88百万円減少したこと並びに流動資産その他が106百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ490百万円の減少となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ513百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ95百万円の増加となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が217百万円増加、未払金が46百万円減少したこと並びに流動負債その他が50百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ372百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が319百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は277百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ236百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が278百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は150百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該事象を解消し、又は改善するための対応策

当社グループは、「1 事業等のリスク」に記載のとおり、継続的な営業損失を計上しており、当第3四半期連結累計期間において重要な営業損失を計上しております。また、当社グループの借入金の一部について、連結会計年度の経常利益額、連結会計年度末の純資産額、事業年度末の当社の純資産額に係る財務制限条項が定められており、当連結会計年度末において財務制限条項に抵触することが見込まれます。当該状況により、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。当該状況を解消するため、次の対応策を講じてまいります。これにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

フライアイレンズの採算改善

当社グループへのフライアイレンズの発注増加は著しく、生産能力増強が間に合わない中で、専用炉以外でのガラス基板の生産と外注加工で対応したことで、フライアイレンズで大きな売上損失が生じたことが、営業損失の最大の原因であり、生産性の向上、外注管理の徹底、製品単価の適正化等により採算性を回復させていきます。

()生産性の向上

()良品率の向上

フライアイレンズの受注増加に対応するために、フライアイレンズの成型を専用炉であるC4炉に加えて、一部品種について、他の製品も生産しているC5炉に振り替えております。C5炉でのフライアイレンズの成型条件の確立により歩留りは回復しつつありますが、引き続き歩留り改善を進め、製造原価の低減を図ります。

また、蒸着工程では蒸着条件の一層の安定化により、歩留りの更なる向上を図ります。

()内製化の推進

増設した自動スクライブ機で、フライアイレンズの切断工程の内製化率を向上させることにより製造原価の低減を図るとともに、研磨工程についても増設した面取り機により、内製化率を向上させるなど製造原価の低減を図ります。

()外注管理の徹底

外注管理の徹底により外注先での歩留り向上、外注単価の低減等を図ります。

また、生産計画の再構築を図り、外注数量の適正化を目指します。

()製品単価の適正化

上記の徹底した原価低減を図るとともに、得意先には、適正価格への改訂のお願いをいたしております。

フリット事業の早期立ち上げ

新規事業であるフリット事業については、既に試作出荷をしている案件について、量産受注につなげていくことで、着実に売上高を増加させていき、事業の早期立ち上げを図ります。

金融機関との取引関係の維持と財務制限条項への対応

上記の収益改善の施策を実行し、着実に改善の実績を出していくことにより、金融機関の支援体制の維持を図ってまいります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	63,766,960
計	63,766,960

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,950,540	15,950,540	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株であります。
計	15,950,540	15,950,540		

(注) 提出日現在発行数には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年12月31日		15,950,540		1,762,390		1,361

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

(平成25年12月31日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 500		株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,948,100	159,481	同上
単元未満株式	普通株式 1,940		同上
発行済株式総数	15,950,540		
総株主の議決権		159,481	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

(平成25年12月31日現在)

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 岡本硝子株式会社	千葉県柏市十余二380番地	500		500	0.0
計		500		500	0.0

2 【役員状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	383,702	352,665
受取手形及び売掛金	¹ 794,497	¹ 1,006,415
商品及び製品	484,300	396,162
仕掛品	312,692	302,666
原材料及び貯蔵品	70,378	71,317
その他	223,394	116,454
貸倒引当金	5,016	4,970
流動資産合計	2,263,950	2,240,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,614,867	1,504,107
機械装置及び運搬具(純額)	1,378,615	1,270,318
土地	708,614	708,614
リース資産(純額)	274,031	211,587
その他(純額)	507,402	275,438
有形固定資産合計	4,483,531	3,970,066
無形固定資産	9,910	7,615
投資その他の資産		
投資有価証券	131,392	159,687
その他	93,874	91,156
貸倒引当金	-	144
投資その他の資産合計	225,266	250,699
固定資産合計	4,718,709	4,228,381
資産合計	6,982,659	6,469,093
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 337,801	² 555,572
短期借入金	232,000	198,865
1年内返済予定の長期借入金	480,441	522,627
リース債務	95,665	96,940
未払法人税等	20,007	7,098
賞与引当金	45,877	22,463
未払金	286,549	239,867
その他	241,525	191,474
流動負債合計	1,739,869	1,834,908
固定負債		
長期借入金	3,594,923	3,275,680
リース債務	298,097	225,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
退職給付引当金	216,863	230,124
資産除去債務	35,783	37,307
繰延税金負債	11,781	16,918
その他	500	500
固定負債合計	4,157,950	3,785,754
負債合計	5,897,819	5,620,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,762,390	1,762,390
資本剰余金	1,361	1,361
利益剰余金	787,498	1,066,281
自己株式	380	391
株主資本合計	975,873	697,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,938	45,418
為替換算調整勘定	8,245	25,960
その他の包括利益累計額合計	35,184	71,379
新株予約権	27,326	29,687
少数株主持分	46,455	50,283
純資産合計	1,084,840	848,429
負債純資産合計	6,982,659	6,469,093

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,124,393	4,228,102
売上原価	3,444,169	3,804,894
売上総利益	680,223	423,207
販売費及び一般管理費		
役員報酬	55,254	55,467
給料及び手当	184,701	187,662
賞与	4,998	11,412
退職給付費用	7,194	8,611
減価償却費	23,940	26,235
賞与引当金繰入額	-	3,273
旅費及び交通費	30,524	36,631
支払手数料	65,793	69,322
運賃	59,657	58,307
研究開発費	104,236	150,952
その他	216,246	258,957
販売費及び一般管理費合計	752,547	866,835
営業損失()	72,324	443,628
営業外収益		
受取利息	724	386
受取配当金	4,278	4,364
為替差益	12,311	74,775
助成金収入	48,511	66,712
受取事務手数料	7,717	2,097
その他	11,586	11,611
営業外収益合計	85,129	159,949
営業外費用		
支払利息	59,030	56,223
シンジケートローン手数料	18,984	5,672
その他	6,396	5,418
営業外費用合計	84,412	67,313
経常損失()	71,607	350,992
特別利益		
新株予約権戻入益	1,329	8,401
ゴルフ会員権償還益	8,550	-
固定資産売却益	339	84,759
国庫補助金受贈益	-	111,451
特別利益合計	10,218	204,612

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別損失		
固定資産除却損	11,871	494
減損損失	-	25,461
固定資産圧縮損	-	92,926
特別損失合計	11,871	118,882
税金等調整前四半期純損失()	73,260	265,262
法人税、住民税及び事業税	11,973	14,913
法人税等調整額	1,565	331
法人税等合計	13,538	15,244
少数株主損益調整前四半期純損失()	86,799	280,506
少数株主損失()	1,513	1,723
四半期純損失()	85,285	278,783

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	86,799	280,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,770	18,479
為替換算調整勘定	14,387	23,266
その他の包括利益合計	20,157	41,746
四半期包括利益	66,642	238,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,460	242,588
少数株主に係る四半期包括利益	1,818	3,827

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形割引高	188,064千円	150,307千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
支払手形	103,016千円	84,833千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	446,125千円	431,247千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	636,421	2,802,277	62,519	3,501,217	623,175	4,124,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	636,421	2,802,277	62,519	3,501,217	623,175	4,124,393
セグメント利益又は損失 ()	58,931	316,510	140,368	235,073	65,523	169,549

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	235,073
「その他」の区分の損失()	65,523
全社費用(注)	241,873
四半期連結損益計算書の営業損失()	72,324

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	589,602	2,881,187	94,952	3,565,743	662,358	4,228,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	589,602	2,881,187	94,952	3,565,743	662,358	4,228,102
セグメント利益又は損失 ()	53,687	112,173	76,356	89,504	260,242	170,737

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	89,504
「その他」の区分の損失()	260,242
全社費用(注)	272,890
四半期連結損益計算書の営業損失()	443,628

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「機能性ガラス・薄膜事業」において、ガラス偏光子については、これまで、プロジェクター向けに供給していましたが、今後は、センサー向けなどに用途転換していきます。このため、稼働率の大幅な低下が見込まれるガラス偏光子の製造設備の帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「機能性ガラス・薄膜事業」セグメントで25,461千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額()	5円35銭	17円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	85,285	278,783
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	85,285	278,783
普通株式の期中平均株式数(千株)	15,950	15,950
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	重要な変動はありません	重要な変動はありません

(注)前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

岡本硝子株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	松	本	正	一	郎
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	吉	川	高	史	

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている岡本硝子株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、岡本硝子株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

以上